FIRE PRO series

IKW

取扱説明書

コンセント・スイッチなどの
スイッチボックス取り付け防火・防音処理部材

耐火遮音コンセント・スイッチボックスカバー

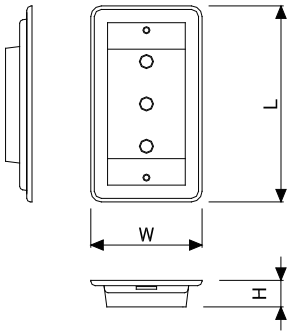
⚠ ご注意

1. **防火区画貫通にご使用の場合は、コンセント、スイッチなどのない状態での国土交通大臣認定です。**
   （コンセント、スイッチなどにご使用の場合は、事前に所轄の官公庁にご確認願います。）
2. 施工は内線規定に基づいて行ってください。
3. ご使用の際は、本取扱説明書をよくお読みください。
4. ケーブル貫通用の抜き穴とケーブルの間に隙間が生じると音漏れの原因となります。貫通ケーブルのサイズを確認してから、抜き穴の設定を行うようにしてください。
5. 作業される場合は、手を傷つける恐れがありますので、軍手などを着用してください。

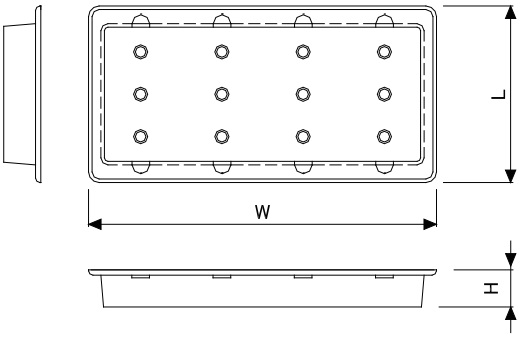
■ 製品仕様

耐火遮音コンセント・スイッチボックスカバー（IKW）　http://www.inaba-denko.com/jp/pro/ik/

1～2個用
（下図例：1個用）



3～4個用
（下図例：4個用）

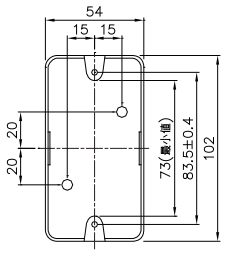


製品寸法　（単位:mm）

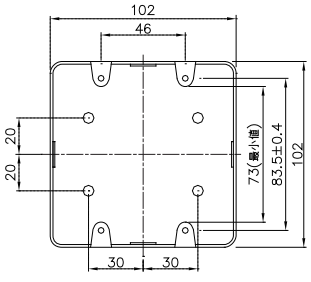
型 番	金属製スイッチボックス（JIS C 8340品）	L	W	H
IKW-1	1個用（ぬりしろカバー無しタイプ）	111	63	15
IKW-2	2個用（ぬりしろカバー無しタイプ）		111	
IKW-3	3個用（ぬりしろカバー有りタイプ）	100	151	21
IKW-4	4個用（ぬりしろカバー有りタイプ）		197	

参考資料　対応金属製スイッチボックス（JIS C 8340）規格

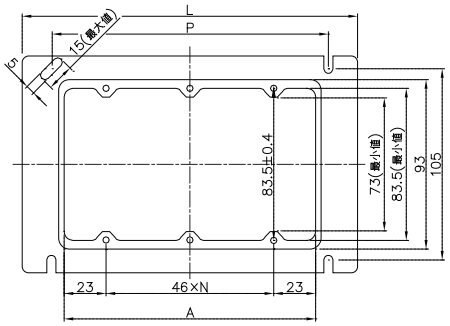
1個用



2個用



3～4個用（ぬりしろカバー）



種類	3～4個用 各部の寸法			
	L (mm)	P (mm)	N	A (mm)
3個用	184	152	2	138±0.5
4個用	230	198	3	184±0.5

因幡電機産業株式会社

●電工事業部	・営業推進部	東京推進課	〒135-0042	東京都江東区木場1-5-25(深川ギャザリアタワーS棟4F)	☎(03)5633-5850	FAX (03)5633-5854
		大阪推進課	〒550-0012	大阪市西区立売堀4-11-14	☎(06)4391-1941	FAX (06)4391-1945
●事業開発部	・営業推進課(東京)		〒135-0042	東京都江東区木場1-5-25(深川ギャザリアタワーS棟4F)	☎(03)5633-5808	FAX (03)5633-5809
	・営業推進課(大阪)		〒550-0012	大阪市西区立売堀4-11-14	☎(06)4391-1789	FAX (06)4391-1960
●商品事業部	・商品部	東日本商品課	〒135-0042	東京都江東区木場1-5-25(深川ギャザリアタワーS棟4F)	☎(03)5633-5804	FAX (03)5633-5801
		西日本商品課	〒550-0012	大阪市西区立売堀4-11-14	☎(06)4391-1915	FAX (06)4391-1916
●電材北海道事業部	・業務課		〒060-0034	札幌市中央区北4条東1-2-3(札幌フコク生命ビル2F)	☎(011)209-1780	FAX (011)209-1785
●近畿電設事業部	・業務課		〒577-0066	東大阪市高井田本通3-7-20	☎(06)6781-1780	FAX (06)6781-0160
●生産技術本部	・技術開発センター	開発部	〒550-0012	大阪市西区立売堀4-11-14	☎(06)4391-1755	FAX (06)4391-1749

■ 施工手順

①スイッチボックスの設置

●金属製スイッチボックスを設置し端部付属品を設置後、PF管・CD管を配管します。

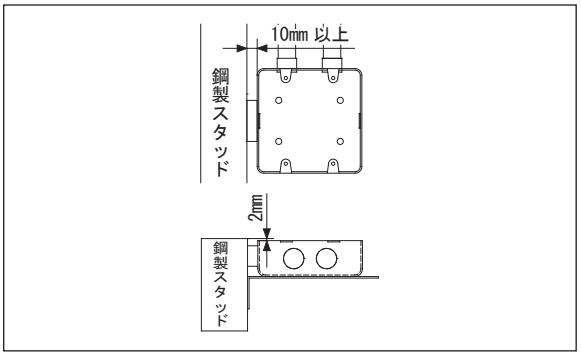
〈注意〉必ず、金属製スイッチボックス（JIS C 8340品）をご用意ください。
1〜2個用には、ぬりしろカバー無しタイプ、
3〜4個用には、ぬりしろカバー付きタイプをご用意ください。
（P1参考資料参照）

●設置の際は、柱や梁などに直接固定せずスペーサーなどで10㎜以上あけて設置します。

〈注意〉10㎜以上あけていないと本製品が柱や梁などに干渉し施工できなくなります。

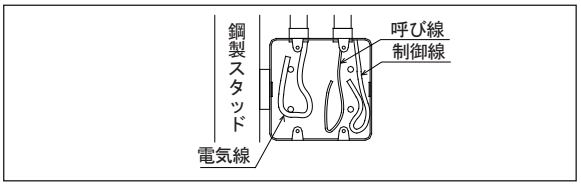
●耐火遮音コンセント・スイッチボックスカバーに厚み（2㎜）があるため取り付け位置は、通常の位置よりも2㎜ほど奥側に設置してください。

〈注意〉通常通りに取り付けますと耐火遮音コンセント・スイッチボックスカバーの分だけ壁内へ入ってしまうためスイッチプレートなどが取り付けにくくなります。



②配線の挿入

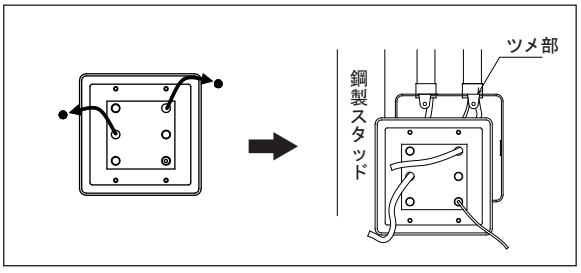
●金属製スイッチボックス内に引き込む配線をすべて引き込みます。
この際、弱電用の呼び線も挿入してください。
（右図は一例です。）



③耐火遮音コンセント・スイッチボックスカバーの取り付け

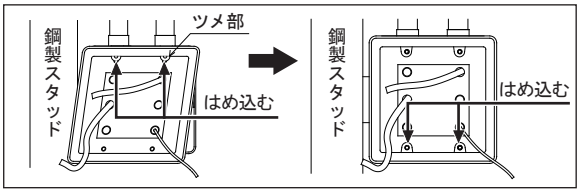
●耐火遮音コンセント・スイッチボックスカバーの半抜き穴を配線する本数分だけドライバーなどの先端で突き破ってください。⌀8以下の配線を通す場合は半抜き穴を切り取らず、キリなどで配線の外径より小さめに穴を開け、貫通させてください。

●耐火遮音コンセント・スイッチボックスカバーには、金属製ボックスにスイッチ類を固定するツメ部を貫通させるスリットがあります（1〜2個用）ので、方向を確認して上記で抜いた穴に配線を通してください。



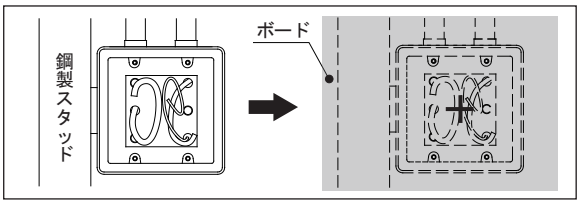
●1〜2個用の金属製スイッチボックスのツメ部に耐火遮音コンセント・スイッチボックスカバーのスリット部を片側ずつはめ込み設置してください。
3〜4個用の耐火遮音コンセント・スイッチボックスカバーは、ぬりしろカバーにかぶせるように設置します。
この際、スイッチ類を固定するねじ穴が隠れないように調整してください。

〈注意〉ゴムが変形した状態では、壁に密着されず音が漏れる場合があります。



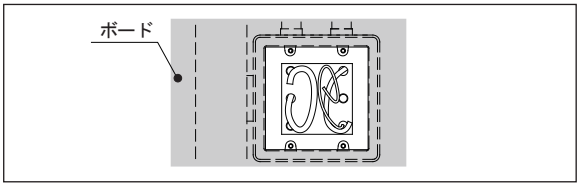
●ボードを貼る際の邪魔にならないように配線類は、耐火遮音コンセント・スイッチボックスカバー内に収めます。

●ボードを貼り付ける前に金属製スイッチボックスの位置が判るようにマーキングなどを行ってください。



④ボードの穴あけ

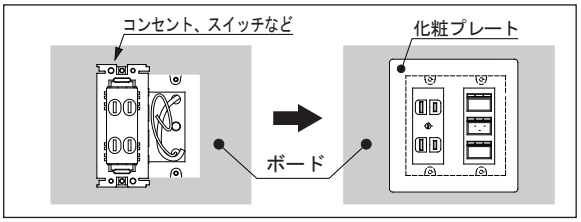
●ボードにケーブル支持材などを取り付ける穴を開けます。
その際、耐火遮音コンセント・スイッチボックスカバーを破いたり切り取ったりしないように注意してください。電動工具での作業の場合は、ボードの厚さ+1㎜程度の深さに設定して開口してください。



⑤副資材の設置

●コンセント、スイッチ、取り付け枠などの機器と配線をつなぎ、最後に化粧プレートを取り付けて完成です。

〈注意〉防火区画にご使用の場合は、事前に所轄の官公庁にご相談願います。



⑥シリコーン系シーリング材の充填

●あらかじめPF管・CD管の貫通穴を開け、ボードを貼り付けます。
●壁内に引き込み側のPF管・CD管とボードの隙間に市販のシリコーン系シーリング材を25㎜以上充填してください。